発議　第８号

寄宿舎の存続を求める利用者、関係者への丁寧な説明と誠意ある対応を求める意見書の提出について

上記議案を提出する。

令和　４年　３月２３日提出

提出者　　益 子　丈 弘

寄宿舎の存続を求める利用者、関係者への丁寧な説明と誠意ある対応を求める意見書

この度、当市議会に「那須特別支援学校寄宿舎の存続」に関する陳情が提出されました。当市議会では、当該寄宿舎に関し、施設管理者である栃木県に問い合わせ、状況を確認するとともに、陳情者を参考人として招致し、存続を求める意見を確認しました。

寄宿舎の本来の目的である遠方からの通学者の利便性と、自立を助ける教育の場としての役割を担う寄宿舎の閉舎発表は、利用者等に相当な不安を与えています。

栃木県の説明では、当該寄宿舎の利用者数は減少しているとのことですが、今後支援が必要となる利用者は増加すると考えられ、児童、生徒の自立、そして保護者等の負担軽減を含め、重層的に支援していく場として重要な施設であることは明白であります。

栃木県は、令和４年３月２９日に利用者等への説明会を開催すると聞いています。

栃木県においては、この説明会の場をはじめとして、利用者、関係者等と今後の対応や対策等について意見交換をし、双方で納得がされるように、真摯にかつ誠意をもった対応をしていただくことを強く望みます。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出します。

令和４年３月２３日

栃木県知事　　福田 富一　様
栃木県教育委員会教育長　荒川 政利　様

那須塩原市議会議長　松田　寛人